

5学部8学科の医療系総合大学へ。(設置構想中) 2013年4月、リハビリテーション科学部を新たに開設します。

少子高齢化など様々な困難を抱える新たな時代を背景に、保健・医療・福祉の分野において貢献する高度なリハビリテーション・スタッフの養成を目的として、新たな学部「リハビリテーション科学部」の開設を現在準備中です。

この開設により本学は5学部8学科となり、医療系総合大学としてさらに進化します。



新学部棟完成予想図

リハビリテーション科学部 [当別キャンパス]

理学療法学科 4年制

[入学定員 80名(予定)]

2年次編入可 [編入学定員 5名] (2014年度より実施)

作業療法学科 4年制

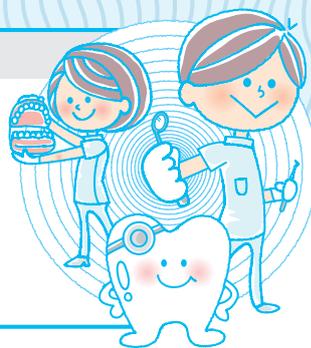
[入学定員 40名(予定)]

2年次編入可 [編入学定員 5名] (2014年度より実施)

歯科医師をめざす受験生へ

歯科医療 最前線 vol.6

〔女性歯科医師の活躍 編〕



増えています、女性歯科医師。

20代の歯科医師の 4割が女性です。

世界的に女性の歯科医師は増加傾向にあります。厚生労働省の調査によると2008年12月31日現在、全国の歯科医師数に女性が占める割合は20.2%と2年前の調査から6%上昇しました。年齢別で見ると29歳以下ではなんと40.8%! 歯科医療の未来はウーマンパワーが支えていくといっても過言ではありません。

女性ならではの感性でやさしい雰囲気づくりやこまやかな心遣いをモットーに、現場で活躍する女性歯科医師がたくさんいます。女性

患者さんにとっても、体調の悩みや妊娠中の治療の不安なども同性の歯科医師になら気兼ねなく相談できますね。審美面でのこだわりにも共感をもって応えてもらえそうという安心感も大きいでしょう。子どもの恐怖心も、お母さんやお姉さんのような歯科医師なら少しやわらげることができるかもしれません。

働き方を選べる 女性にやさしい仕事です。

歯科医師の仕事の魅力には、独立開業が可能であること、患者さんの身近な医者であること、入院患者や急患の診察が少なく勤務

時間がそれほど不規則ではないことなどが挙げられます。女性の場合、男性のように力が強くなくても、手が小さくてもデメリットにはなりません。逆に手が小さいことはメリットにもなり、女性が仕事をしやすい診療科といえます。

結婚後の主婦業、子育てとの両立への不安もあるでしょうが、自分自身の努力や熱意、家族や周囲の理解とサポート、託児施設などの環境が関係してくるのは他のどんな職業でも同じです。ただ、一度休職しても十分な技術、臨床力があれば復帰や再就職は難しくありません。限られた曜日や時間で無理なく仕事を続ける人もいます。歯科医師は女性が目標と信念をもって生涯続けられる仕事です。

TOPICS

自立を考え選んだ歯科医師。チャレンジングな仕事です。

海外勤務が長く「女性の自立」をよく言っていた父の影響もあり、経済学部3年のときに転向、歯科医師をめざしました。現在は東京・六本木で開業し、臨床に加え海外での講演など充実した日々です。本院は選択肢を多く提示した患者さん本位のクリニックをめざしており、無休、平日深夜4時までの診療で急患に対応し、英語、中国語での診療も行っています。得意分野はマイクロスコープや歯科用CTなどを活用した精密歯科治療、特に根管治療と、抜歯即時インプラントなど短期集中治療ですが、他にも美容歯科、北海道医療大学との提携による抜歯した歯を利用する再生医療など多彩に取り組んでいます。歯科医師は男女の区別なくチャレンジしがいのある仕事です。



虫歯の神経を取り除く根管治療は、再び細菌に感染しないようマイクロスコープを使い、繊細な技術を駆使して徹底的に行う。



医療法人社団恩地会
恩地デンタルクリニック
院長 恩地 景子 さん

本学歯学部歯学科2000年卒業。本学医科歯科クリニック(現・北海道医療大学病院)、コロンビア大学大学院、ニューヨークのデンタルオフィスなどに勤務後、同院開業。根管(歯の根)治療のエキスパートであり、日本での歯内即時インプラントの第一人者。短期集中治療を得意とする。